



発行
大井町自治会
亀岡市大井町土田2丁目11番20号
大井町自治会事務局内
TEL 0771-22-0157
FAX 0771-22-1056
mail:ooi-jitikai@kdn.biglobe.ne.jp
発行者 編集委員会

大井町
ホームページ



人の動き (令和7年4月1日現在) 註:()内は対令和6年4月1日増減
大井町人口 8,534人(-53人) 男 4,108人(-57人) 女 4,426人(+4人) 世帯数 4,159世帯(+26世帯)



大井町南金岐倶楽部竣工式 (大井町南金岐清水)

日差しに夏の到来が感じられる今日この頃となりました。
まず、この度、岩手県大船渡市をはじめとする各地の山林火災で被災された方に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。なお、近年の災害の甚大化・頻発化を受けて、当自治会としても防災意識の向上に努める所存です。
さて、大井町では四月、ゴミ回収中のパッカー車の後部から、煙が発生する事故が起こりました。火元となったのは、ゴミとして出されたカセットコンロで、ガス缶を入れたまま廃棄されたことが原因と思われる。町の安全を守るためにも、今一度、ゴミ分別ルールの確認と厳守のほど、お願い申し上げます。
特にガス缶など、爆発や火災の原因になりうるゴミに関しては、必ずルールに従って処分してください。
一方、まちづくりといたしましては、秋頃に府道並河亀岡停車場線の橋梁上部工事が始まります。さらに、国営緊急農地再編整備

安全・安心・優しい町。
大井町をめざして

大井町自治会 会長 大釜 茂和

事業亀岡中部地区桂川西地区の工事が進み、大飼川橋梁の上部工がその姿を表しております。これらの工事が完了した暁には、安全かつ円滑な交通が実現するとともに、桂川右岸道路早期整備促進に弾みがつくと見込んでおります。

皆さんご存知のように、令和七年一月をもちまして、亀岡市は市制施行70周年を迎えました。大井町自治会と致しまして、市制70周年記念事業を行うとともに、これを機に一層気を引き締めて、安全・安心なまちづくりに尽力して参る所存です。今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度の
主な事業

- 前期代議員総会
四月二十六日(土)
於大井生涯
学習センター
 - 光秀まつり参加
五月三日(土) 祝日
市制70周年記念
各種団体長会
五月十日(土)
 - 各地区要望箇所の
取りまとめ
五月下旬
 - 地域懇談会の開催
七月上旬
於大井生涯
学習センター
 - 花祭り 市制70周年
記念大井盆踊り大会
八月十九日(火)
於大井神社
 - 市制70周年記念
大井町敬老会
九月十三日(土)
於湯の花温泉
溪山閣
 - 市制70周年記念
第四十九回
町民大運動会
九月二十八日(日)
於大井小学校
グラウンド
 - 大井町クリーン作戦
十月二十六日(日)
於大井町内全域
 - 市制70周年記念
第四十回大井町
ふれあい町民祭
十一月十六日(日)
於大井小学校
グラウンド
 - 大井町人権研修会
十二月六日(土)
於大井生涯
学習センター
 - 年末年始福祉事業
 - 花壇
五月十七日(土)
夏用花
十一月一日(土)
冬・春用花
 - 大井だより発行
八十三号
本年
六月二十五日(水)
八十四号
令和八年
三月二十五日(水)
- ※変更もあります。

光秀まつり 武者行列に参加

祝日の五月三日(土)に第五十二回亀岡光秀まつり武者行列が行われました。
大井町からも多数の方が参加されました。
晴天の中、明智光秀公武者行列は大本本部、旧城下町一帯、サンガスタジアム前を練り歩きました。



市制70周年記念
各種団体長会

五月十日(土)に開催した各種団体長会では、市制70周年を記念して参加者一同で集合写真を撮影しました。





そんな明るいフレーズから始まる大井音頭。夏祭りで大いに盛り上がり、皆さんの耳にも残っていらつしやることと思います。

大井音頭は、大井町

民の絆を深めるソウルソングとして2017年に誕生しました。公募によって寄せられた歌詞の良いところを集めて紡ぎ出されたものです。そして、村上芳樹先生が作曲してくださり、大井町在住の日本舞踊家 若柳吉乃富（小石原頼子）先生による振付が考案され、愛嬌がありつつそれでいて優雅な大井音頭が完成を見ました。以来、夏祭り等で踊りの輪が広がり、大井の地に根付いてきたと感じています。

私たち大井音頭・踊り保存会は、2024年3月に結成し、大井

音頭の継承と大井町における踊り文化の発展を目指して取り組んでいます。昨年度は大井小学校のご協力をいただき、2・3年生対象に講習会を開くことができました。

若い世代にも裾野を広げていきたいと考えています。

毎月第2日曜日の夜7時半からは大井町生涯学習センターで練習会を開催しています。

この練習会には、どんなでもご参加いただけます。曲目も様々で、亀岡音頭や湯ノ花小唄、今年は若い方にも人気の「ダンシング・ヒーロー」にも挑戦しています。踊りが好きな方を動かしたい方、そして仲間と交流を深めたい方はぜひご参加ください。

盆踊りは、特別な踊りの技術がなくても踊れますし、幅広い世代の仲間と一体になって同じ音楽・踊りを楽しめるところが魅力です。夏祭り前の講習会も始まりますので、皆様のご参加をお待ちしています。

大井盆踊り講習会

6月22日・7月13日・
7月27日・8月10日

いずれも日曜夜7時半から大井生涯学習センターにて開催



企業紹介シリーズ 藤工業

藤工業は、京都の設備工事店にて三十年程修行をして大井町小金岐にて平成三十一年に個人事業として設立をし、地元の皆様方のお世話になりながら成長して参りました。

下水共用開始から屋内外の新築設備工事、リフォーム等に携わるにあたり専門資格、給水装置工事主任、下水道排水設備工事の有資格者在籍のもと一般住宅全般、給排水設備工事を行っております。

私たちが暮らしていくうえで水は必要不可欠なものです。それらを快適に、そして安全安全にご使用しつづけて頂くために、水まわりトラブルへの対応、工事や修理を行って参りました。おかげさまでたくさんのお客様の環境づくりに関わらせていただいております。

これまで培った経験と知識で、お客様に寄り添いながらご要望にお応えすることを第一に考え、ご提供できる藤工業でありたいと思っております。



代表／藤原 彰人
住所／〒621-0018
京都府亀岡市大井町小金岐
北浦45番地
TEL／0771-22-6699
携帯／080-8942-4888

「あった」「ありがたい」と言っていただけけるよう、真摯に向き合っております。

今後とも格別のご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願いいたします。



地域防災の要として

亀岡市消防団

大井分団 分団長 松本 慶一

平素は、大井分団の活動に對しまして、格別のご理解と多大なるご支援ご協力を賜り心より深く感謝申し上げます。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

消防団は、地域住民の安全を守るため、火災時の消火活動だけでなく、地震や風水害等の大規模災害には救助・救出、避難誘導等の活動も行います。警察や消防から依頼があれば行方不明者等の捜索活動もあります。

災害時の対応能力を高めるために訓練を行い備えるだけでなく、毎月の夜間巡回広報、地域の方々からの依頼があれば防火指導（消火訓練）を行い地域の消防・防災力を高める役割を担っております。

消防団員は地元の災害危険箇所等を把握し台風や大雨等においては河川や水路等の水位に注意を払い、自分達の町は自分達で守るという郷土愛護の精神と心構えを持って活動しております。

消防団はもとより亀

岡消防署、大井町自治会、自主防災会、また地域住民の皆様と連携を図り各災害への備えや情報を常に共有しながら防火・防災に努めていきたいと思っています。最後になりましたが、

大井分団も例外ではなく、現代社会の多種多様な情勢、地域コミュニティの変化を受け、団員の確保が大変難しくなっています。消防団活動を通じて地域の防火・防災の要として活動し、また地域住民との共働、愛する大井町のために、そして自分自身のためにも消防団に入団し地域社会参画への一歩を踏み出してみませんか。皆様のお宅へ消防団員が勧誘に訪れた時には消防団の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

今後とも町民の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



大井町南金岐倶楽部

令和7年3月15日 竣工

南金岐倶楽部は、昭和51年に吉川町吉田の公民館新築により、その建物を譲り受け亀岡市南金岐土地改良区のご理解において、現在地に移築したものであります。

しかしながら、年数が経過すると各所で不具合が生じ、その都度区民の方の協力において、修繕を加えて建築後約50年が経過したものであります。

近年は、区民も高齢化となり会議室へ出入りするのにも大変な状況で、また、避難所で

あることから、安全・安心な施設としての建築機運が高まったものであります。

この度、新築しました施設はバリアフリー化等も考慮した高齢者に優しい施設となっております。区民が気軽に集える「倶楽部」として、さらに次世代に受け継がれるコミュニケーションの場として、各種イベント等の開催において区民が集い、他地域との交流も生まれ、それが区民の活力を生む施設を目指していきます。



竣工式参加者 集合写真



新倶楽部



旧倶楽部

広げよう スポーツの輪

大井町スポーツ振興会 会長 安達 善光

しっとりとした空気に緑の香りが漂う初夏の候、大井町の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、大井町スポーツ振興会活動の推進に別格の御配慮をいただき厚く御礼申し上げますとともに、今年度の役員を引き受けていただきました各地域、団体の皆様に心から感謝を申し上げます。

今年度も三つの事業を計画しています。

① 6月15日

ニユーススポーツ体験『モルック』

② 9月28日

『市制70周年記念

第四十九回大井町町民大運動会』

③ 11月中旬

『ソフトバレーボール大会』

の事業を計画しています。

6月のニユーススポーツ体験『モルック』は、小さなお子さんからご年配の方まで、年齢関係なく出来るスポーツですので、お友達等お誘いのうえご参加ください。



9月28日開催の、市制70周年記念 第四十九回大井町町民大運動会ですが、昨年度はコロナ禍あけて初めて1日開催で行いました。昨年の運動会開催でもいろいろなご意見等を頂いておりますが、町民皆様のつながり、親睦が図れるような運動会でありたいと思っています。



スポーツを通じた顔の見える関係、いざというときに助け合える関係をつくること』に取り組み、脈々と育まれてきました。この伝統は本会だけでなく大井町にとっても大切な宝であり、これを守って

いくことが本会の重要な使命だと思っています。どうぞ、今年度におきまして、大井町スポーツ振興会に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

「青少協」の名前を

覚えてください

大井町青少年育成連絡協議会

会長 岩本 香保里

皆さんは「せいしゅうきょう」をご存知ですか？

私は昨年度まで、正式名称や活動内容等はほとんど知りませんでした。PTAでも大変お世話になったのです。

では「せいしゅうきょう」っていったいどんな組織？

正式名称は「青少年育成連絡協議会」。略して「青少協」。4名の本部役員と、各地区・南桑中・大成中・大井小の各PTA、子ども会さんから選出された委員で構成されています。町内の各種団体さんと連携し、青少年を温かく見守る地域をつくる活動をしています。

主な活動内容をお伝えします。

6月・8月の土曜日の夜や大井神社花祭の夜に、安心安全な街づくりの一助になるよう町内パトロールを行っています。

町内24箇所立看板を立てて、大井小児童



の皆さんの標語をお伝えしています。

「こんにちは」元気に

あいさつ大井っ子

でも青少協の認知度

が低いからでしょうか、

役員を引き受けていた

だくハードルが高いで

す。前年度末にたくさん

のお宅を訪問しました。

インターフォン越しに

「せいしゅうきょうで

す」とお伝えすると、

すぐに「結構です」と

言われることも多かつ

たです。大井町の皆様、

どうか「青少協」の名

前を覚えてください。

私達も知っていたたく

よう努めます。未来を

担う青少年が健やかに

のびのびと笑顔で過ご

せるように、皆様のご

協力をお願い申し上げます。





地域の力で子どもたちを見守る

亀岡防犯推進委員連絡協議会

大井支部長 松山 好伸

日頃は、防犯推進委員の活動に、ご理解とご協力をいただいていますことに厚く御礼申し上げます。

私たちは防犯推進委員は、安全で安心して暮らせる大井町を目指して、犯罪が起きにくい環境を作るために、並河駅前防犯活動センターを拠点に、防犯啓

発活動を行っています。

主な活動は、青色防犯灯を設置した防犯活動用自動車（いわゆる青パト）での防犯パトロール、防犯啓発ポスターの掲示、街頭での防犯啓発、子どもの見守りなどです。

しかしながら、私たちだけでは、犯罪が起きにくい環境を作るこ

とができます。地域住民の一人一人の防犯意識の向上や自治会、区の組織、各種団体等の協働が必要です。特に子どもの見守りは、未来を担う子どもたちの成長を誰もが願うところであり、地域の力が重要です。

一、子どもの力 自分を守るための予防や対処する力。
二、大人の力 身近な大人が子どもを守り、子どもがもつ身を守る力を引き出す力。
三、地域の力 子どもや保護者だけでは対応できない範囲をサポートする力。

これらの力が重なり連携することで、子どもたちの安全を守る力が強くなります。このように、子どもの安全を守るために、大井町の皆様、子どもたちの登下校や戸外で遊んでいるときなど、お庭の掃除をしながら、花の水をやりながら、ウォーキングをしながら見守りをしていただきたく思います。いつでも、誰かが、見守りをしている。このことが、子どもたちも安心でき、犯罪抑止にもつながると思います。



大井町地区社会福祉協議会設立

大井町地区社会福祉協議会 会長 中川 清

この度、地域福祉コミュニティ活動を主体的に推進する団体として、大井町地区社会福祉協議会（市内14番目）を4月1日に設立させていただきました。

これまで、大井町文化振興会がその役割を担っていたいており、昨年度、昨年5月31日をもってその活動を終えられ解散されたことから、同会に集わ

れ活動されていたサークルをお支えるため、また、これからは誰もが

が大井町で安心して明るく元気に楽しく生きがいを持つて暮らしていける町にするため、

亀岡市社会福祉協議会をはじめ、自治会、関係団体の代表の方々と協議相談をさせていただきます。

つきましては、本年度は

・誰もが楽しめる大井音頭の普及など文化活動の支援

・趣味のサロンなどの支援

・子育て活動の支援

・町の見守り活動

・当協議会の目的を達成するため、亀岡市社会福祉協議会、亀岡市中部包括支援センター等との情報交換・意見交換

を、自治会、各種団体や地域に住まいする方々と共に、亀岡市社

会福祉協議会が掲げる「互いにつながり合い、誰もがずっと住み続けられるまちづくり」を実現するため活動をしてまいります。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いします。

なお、当地区社協に登録されるサークル、サロン等には、ご支援（助成金等）のお話をさせていただきます。事務局は自治会に置いておりますので、ご連絡をお待ちしております。

学び 楽しみ 会議 の場にどうぞ

亀岡市大井生涯学習センター

一般使用料金（営利目的利用は別料金）

区分／室名	集会室	和室
9:00～12:00	3,000 円	600 円
13:00～17:00	4,000 円	600 円
18:00～22:00	5,000 円	800 円
9:00～17:00	7,000 円	900 円
13:00～22:00	9,000 円	1,400 円
全日	12,000 円	1,700 円

※ 集会場の半面使用は半額料金です。
※ 冷暖房使用時は2割増しです。



机 30 脚、椅子 100 脚

8 畳

お申し込みは、大井町自治会事務所まで
メディアス亀岡 1 階 ☎ 22-0157

大井町関連 小・中学校の紹介

亀岡市立大井小学校

日頃より、本校教育の推進に深いご理解とご協力をいただいておりますことに心からお礼申し上げます。
令和七年度、大井小学校は、新たに五十四名の一年生を迎え、全校児童三八二名でスタートいたしました。
『「知をみがき 心豊かに たくましく」次代を生きぬく人間の育成をめざす』を教育目標に、多くの方々とのつながりを大切にする教育を進めてまいります。

今年度は、合言葉を「つながり むすび おおいに あいたい」一緒に創る大井小」としました。学校の主人公である子ども達が、何事も自分事と捉え、自ら考え、選択、決断し行動する力を身に付け、将来をたくましく生きていくことができることを目指していきたいと考えます。子ども達には、与えられたものだけで満足するのではなく、学校生活を自分たちの手で新たに切り拓き、主体者となって学校生活を楽しむことのできる人になってほしいと願っています。

また、「生活科」や「総合的な学習の時間」の学習では、『おおいで学ぶ、おおいに学ぶ』を合言葉に、『大井町』を軸に各学年のテーマを設定し、学びを深めていきたいと考えています。様々な角度から大井町について学び、学年が進むにつれ、大井町の知識も増え、自分たちが住んでいる町をもっと好きになってほしいと思っています。一人ではできないことも友達と一緒にやり遂げられたり、切磋琢磨して次のハードルを目指したり、一人では気付かなかった新しい発見があったりと、人とつながることの可能性を大きく広げてほしいと願っています。
保護者の皆様、地域の皆様のお力を借りながら、ともに次代を生きぬく子ども達を育んでいきますよう、今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



【新しい教職員の紹介】

教務主任	磯林 和広	(東別院小学校より)
大井学級三組	畑 尚吾	(千代川小学校より)
二年一組	佐近 寛之	(亀岡川東学園より)
二年二組	下西 直	(亀岡小学校より)
四年二組	丹羽 一成	(亀岡小学校より)
四年一組	野井 青海	(大枝小学校より)
五年一組	薮本 泰基	(京都府総合教育センターより)
英語専科	松岡 知弘	(保津小学校より)
事務職員	池田 美和	(保津小学校より)
初任者指導	大石 竜介	(保津小学校より)
音楽専科	眞里谷 博子	(詳徳小学校より)
支援員	川勝 志乃	(詳徳小学校より)
学校用務	河口 真佑	(詳徳小学校より)
	足立 森昭、小林 真由美	(詳徳小学校より)

亀岡市立南桑中学校

日頃は本校教育の推進に對しまして、深いご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

本年度は1年生74名を迎え、全校生徒232名。クラス数は、全学年において京都式少人数学級を導入し各学年3クラス、桑の実学級5クラスの計14クラスでスタートしました。

「自主」「責任」「協力」の校訓のもと「自ら学び、豊かな心とたくましく生きる力を持つ生徒の育成」を教育目標に掲げ、77年という伝統の基に、新たな歴史を築いていきたいと思っています。生徒はお互いを思いやり、自分たちの学校に誇りと責任を持って新たな歩みを始めています。本年度も教職員とPTAの皆様との繋がりを大切にし、地域の皆様と力を合わせて、将来を担う子ども達を育てていきたいと考えておりますので、今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。



【新しい教職員の紹介】

校長	藤田 光宣	(大成中学校より)
教務主任	針尾 有章子	(京都府教育委員会より)
一年学年主任	中 由里子	(東輝中学校より)
桑の実三組担任	井上 雄介	(蒲生野中学校より)
桑の実二組担任	齊藤 武志	(亀岡中学校より)
桑の実五組担任	岩本 龍太郎	(大成中学校より)
理科担当	中野 孔明	(亀岡中学校より)

亀岡市立大成中学校

日頃は、本校教育の推進に深い御理解と御協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

今年度より校長として赴任しました樋口と申します。30年前にも大成中学校に約10年間勤務しており、とても懐かしい思いで4月より勤務しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本校の教育目標である「自ら考え、鍛え、共に高めよう」。この文言も30年以上前から変わっていません。改めてこの目標を考えると、先見の明のある、普遍的な教育目標であることを痛感しています。

これまでは、知識を記憶・暗記することに重点を置かれていた教育が行われていましたが、「知識・技能を使って思考・判断表現する」ことに重点が置かれるようになったことが、現学習指導要領には記載されています。もちろん「知識・技能」(基礎基本の内容)の習得を軽視することではありません。さらに児童生徒が「協働的な学び」を進め、自らが身の回りの課題を見つけ、それを解決していくことが現在の学校教育では求められています。

これらを踏まえて本校教育目標を見直す、目標の冒頭に「自ら考える」とあり、「思考・判断表現」の大切さを謳い、「鍛え」「決して」「知識・技能」の習得をおろそかにせず、「共同」「協働」多様な仲間を認め合い協力することの大切さを挙げています。最後の「高まる」は、「課題を解決する」と私は理解しました。この古くて新しい教育目標のもと、今年度も教育活動を進めてまいります。

さて、令和七年度は、1年生118名を迎え、全校生徒363名(14学級でスタートしました。

昨年度は、亀岡市とアメリカ合衆国オクラホマ州にあるスティルウォーター市との姉妹都市盟約締結35周年に当たり、10月にはスティルウォーター中学校の訪問団が来日され、亀岡市で記念式典が開催されました。今年度も引き続き、スティルウォーター市から中学校訪問団を受け入れる予定です。

本校では今年度も「対話」を研究テーマとして生徒指導・学習指導に取り組みでまいります。変化の著しい現代社会において、生徒たちにとっての力をつけさせるのかについて、社会の動きを見ながら検討協議し、かつ学校教育目標という本校の原点を踏まえ、教育活動を進めてまいります。地域の方々保護者の皆様には、引き続き御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。

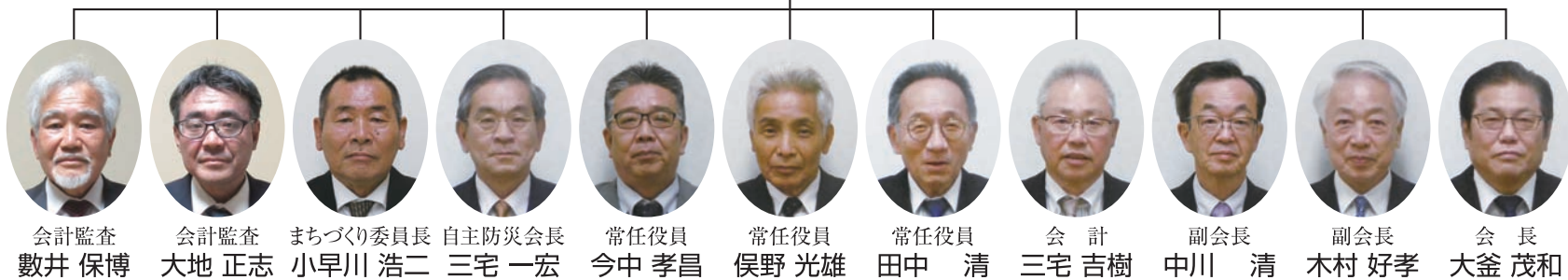
【新しい教職員の紹介】

校長	樋口 肇	(東輝中学校より)
家庭科教諭	村上 智和	(八木中学校より)
音楽科教諭	木村 やよい	(園部中学校より)
技術科教諭	津田 幸一郎	(東輝中学校より)
数学科教諭	新田 高峰	(蒲生野中学校より)
英語科講師	宮本 陽太	(新規採用)
社会科講師	羽柴 多恵子	(東輝中学校より)
支援員	熊谷 颯人	(新規配置)
	永田 由香	(新規配置)

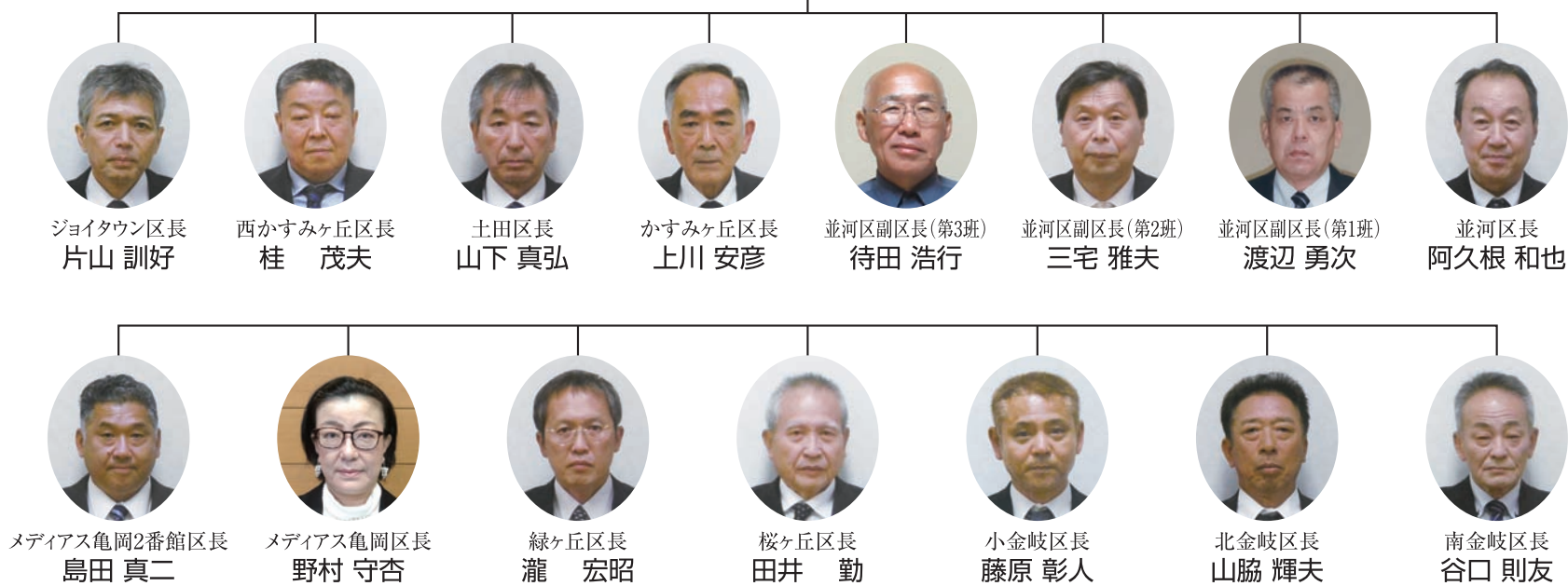


令和7年度 各種団体役員紹介

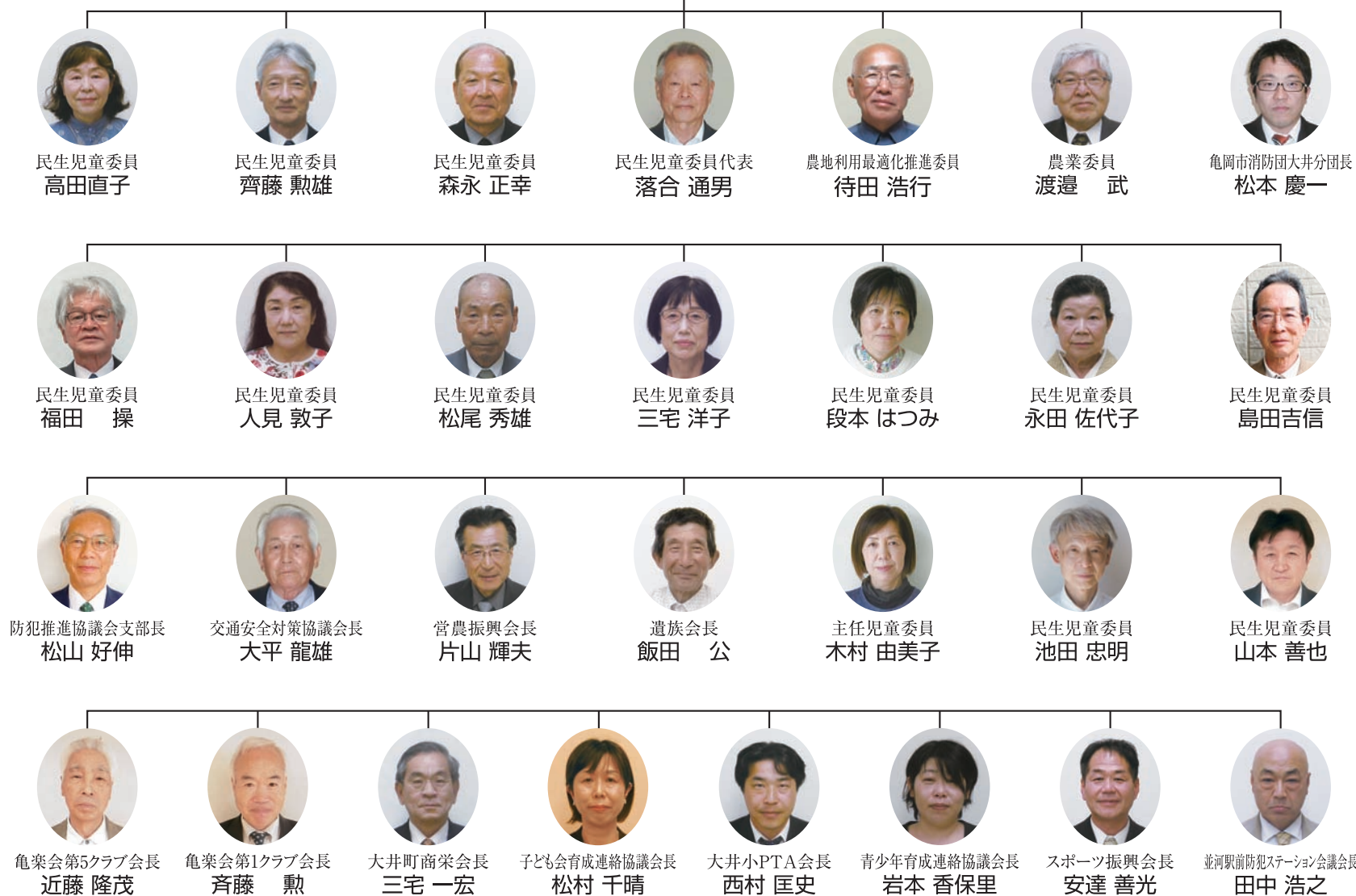
自治会



区 長



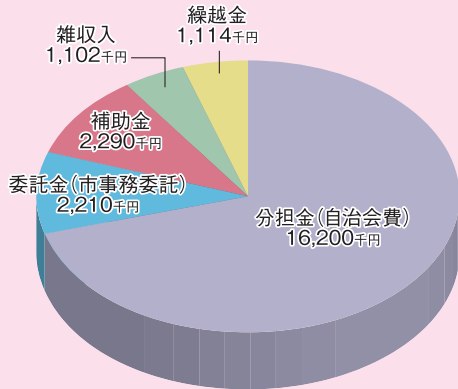
各種団体長



令和7年度 一般会計予算概要

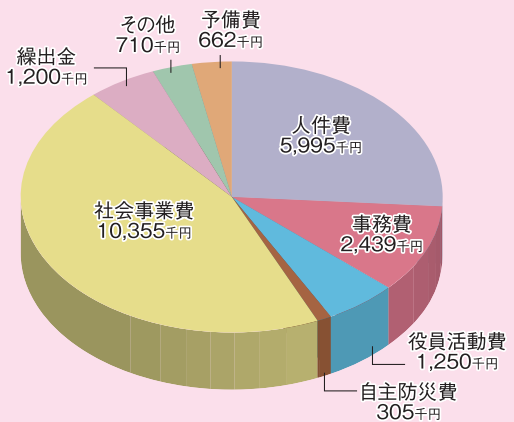
歳入(総額22,916千円)

項目	金額
分担金(自治会費)	16,200千円
委託金(市事務委託)	2,210千円
補助金	2,290千円
開発協力金	0千円
雑収入	1,102千円
繰越金	1,114千円
計	22,916千円



歳出(総額22,916千円)

項目	金額
人件費	5,995千円
事務費	2,439千円
役員活動費	1,250千円
自主防災費	305千円
社会事業費	10,355千円
繰出金	1,200千円
その他	710千円
予備費	662千円
計	22,916千円



活動の状況

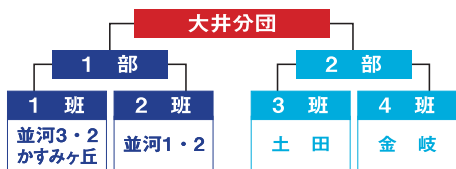


◆入会に関することやお問い合わせは下記まで◆
大井町交通安全対策協議会
代表 大平 龍雄
TEL 0771-25-6194／携帯 090-1915-6194

大井町交通安全対策協議会
《亀岡交通安全協会大井支部》
交対協 会員募集
《安全安心のまち大井》子どもや高齢者・市民みんなが繋がるまちづくりをめざして
新年度がスタートいたしました。いつも交対協の活動に格別のご支援、ご協力を賜りありがとうございます。交対協は一九八〇年にスタートし四十五年間が経過、現在の主な活動は次の通りです。
一、児童の通学路の安全見守り
一、自治会行事や各地域での諸行事における会場周辺での市民、住民の安全見守り
一、交通安全の確保に関する相談や各種講習会への参加と普及活動
募集人数 3～6人 年齢・男女を問いません。
募集背景と今後への対応の必要性
一、団地開発や交差点の増加に対応し、児童の登校時の安全確保、見守り充実
一、今後の諸行事復活における市民の安全見守り充実
一、自転車安全五則等の制定による安全確保の協力
一、会員の高齢化による後継者育成
(現会員数五名・平均年齢七十五歳)

大井分団の現状は？

大井分団の団員数は45名で、年代の内訳は20代が9名、30代が21名、40代が15名となっています。各地域に分かれて2部4班で構成されており、各班あたり10～12名の団員が在籍しています。



※上記の表は各班の主な管轄です

消防団について詳しく知りたい方は

総務省消防庁

<http://www.fdma.go.jp/syobodan/index.html>

消防団 検索

◆入団に関することやお問い合わせについては下記まで◆

分団長 松本 慶一 TEL 090-9056-0660
副分団長 西村 速生 TEL 090-7098-8082
1部部長 水原 和俊 TEL 090-9548-7592
2部部長 中澤 允志 TEL 090-6245-5287

亀岡市消防団大井分団

消防団員募集

大井町の安全と安心を守るために、あなたにもできることがあります。

亀岡市消防団大井分団では消防団員を募集しています。満年齢18歳以上で大井町内に居住しておられる方であれば入団できます。消防団員の年齢層は幅広く、自営業者、サラリーマン、学生など様々な人達が集まった仲間です。

例えば「新しく大井町に引っ越したばかりで入りづらい」「地元の人ばかりでは」などの不安をお持ちの方も多いと思いますが、そんなことはありません。大井分団は「わ」を大切に仕事や子育てなどの私生活でもお互い助け合えるような人間関係を築いており、アットホームな雰囲気です。地域に貢献したい方、これから何か始めたいと考えている方、充実した生活を送りたい方、入団をお待ちしております。



編集後記

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃、町民のみな様には如何お過ごしでしょうか。本格的な夏を控えて、どうぞご自愛ください。

ここに「大井だより」第83号をお届けさせていただきます。5月に開いた各種団体長会で、ご来賓の皆様から「市政70周年を迎え一番大きく発展したのは大井町ではないか」と異口同音にご挨拶をいただきました。旧山陰街道を軸に南北に延びる線状の町並みは、京都縦貫自動車道まで東西の幅を広げる大きな面の町並みへと発展しました。

一方で、顔の見える旧村時代のご近所づきあいは、都市化の波で様変わりしてきたと感じます。それに加えてコロナ禍を体験し、町民相互の距離感がさらに広がったのではと感じるのは、私一人ではないと思います。

21世紀も四半世紀を過ぎようとしています。新しい時代の自治会活動の模索が求められる時ですが、まずはこれまでの良き活動を継承していくことが先決かと思うところです。「大井だより」の発行が、その一助となるよう願っております。ご意見、ご感想を、最寄りの自治会役員までお寄せいただくと幸いです。

寄稿いただきました皆様並びに編集委員の皆様、感謝を申し上げ、町民の皆様の益々の健康を祈念して、編集後記とさせていただきます。

編集委員長

編集委員名簿

大井町自治会長 大釜 茂和
大井町自治会副会長 木村 好孝
大井町自治会会計 三宅 吉樹
並河区副会長(三班) 待田 浩行
並河区副会長(三班) 藤原 彰人
小金岐区副会長 篠塚 藍子
青少年育成連絡協議会副会長 大西 藍子
大井小学校PTA副会長 大西 藍子
子ども会育成連絡協議会副会長 柴田 恭兵
亀岡市コミュニティ推進員 中川 牧子
亀岡市コミュニティ推進員 山田 精巧
編集委員長(大井町自治会副会長) 山田 精巧